

令和5年11月25日

評価委員会

令和5年度 奈良保育学院附属幼稚園 活動報告と園児募集にかかわって

Ⅰ. 主な活動について

4月			9月		
10	月	始園式	1	金	始園式
11	火	入園式	6	水	茶道教室
12	水	学級懇談会（～14日）	12	火	祖父母参観
20	木	全日保育開始（給食は24日～）	13	水	親子体験学習①（月組）
26	水	親子遠足（雨天のため体育館で実施）	15	金	親子体験学習②（月組）
5月			10月		
8	月	いちごがり	9	月	運動会
9	火	三親会（PTA）総会	12	木	奈良学園小学校見学（星組）
10	水	玉ねぎの収穫（理事長の畑）	20	金	「いちご組」運動会ごっこ
11	木	交通安全市民決起大会に参加（月組）	28	土	移動動物園
13	土	親子体操（体育館）	30	月	花プロジェクト
16	火	奈良学園小学校見学（月組）	11月		
24	水	サツマイモの苗植え（理事長の畑）	1	水	公開保育
25	木	内科検診	10	金	芋ほり・玉ねぎの苗植え（理事長畑）
31	水	にこにこ祭り（体育館で3園合同）	14	火	学園合同避難訓練
6月			18	土	R6 年度未就園児クラス説明会①
5	月	保育参観（月組：奈良学園小出前授業）	22	水	R6 年度未就園児クラス説明会②
6	火	交通安全教室	25	土	作品展
7	水	茶道教室（月組）	27	月	焼き芋大会（理事長畑）
8	木	歯科検診	12月		
13	火	花プロジェクト	6	水	クリスマス会
15	木	歯磨き教室	11	月	餅つき
26	月	味噌づくり（保護者ボランティア）	12	火	学習懇談会（桜組）
7月			13	水	個人懇談会①（②18日/③19日）
1	土	思い出保育（月組：ムッレ森の教室）	14	木	学級懇談会（星組）
5	水	おしゃべり会（保育参観も兼ねて）	15	金	学級懇談会（月組）
10	月	個人懇談（～14日）	20	水	終園日
20	木	終園式	冬休み		
夏休み			23	土	高校の保育フェスタに参加
24	月	長期預かり保育（～8/23日）	3 学期		
8/24	木	登園日（2学期始業式9月1日まで）	9	火	始園日
[正課教室等毎週実施している活動] ・ 体育教室：月・金曜日 ・ 英語教室：木曜日 ・ 絵本の日：火曜日（一人2冊の貸し出し）			[毎月実施している取組] ・ 避難訓練（最終金曜日で実施） ・ お誕生日会（最終火曜日で実施） ・ 身体測定		

[主な取組：成果(○)と課題(▲)と今後の対応(→/□)] (「※番号」は、別紙を参照)

- ① 三親会の廃止：5月9日の三親会総会で昨年度の事業・会計報告をして三親会を閉じる
 - 保護者負担(会議、行事等の挨拶)の軽減
 - ▲ 保護者間の交流 → 「おしゃべり会」を3学年合同とし、保護者同士の交流を図るワークショップを実施
→ 園外活動を中心に保護者ボランティアを募集し、保護者間交流の機会とする (※1)
- ② 子どもの様子の発信と保護者への啓発：保護者連絡アプリ「コドモン」で日常的に配信 (※2)
 - 園児一人ひとりの様子はドキュメンテーションを作成して個別に配信
 - ▲ 教員の負担増 → 個別は1日一人を目安に / 全体の様子はコメントを簡略化し、複数の写真で対応
- ③ 野菜の収穫と苗植え：自然の中での活動を楽しみ、植える・育てる・収穫する・育てる経験を積む (※3)
 - 野菜を植える・収穫するという活動に加え、開放的な畑で自由に体を動かし、活動することができた
 - ▲ 日常の活動につなげる必要がある → 見通しを持った活動に(例えば、子どもたちの話し合いの中から「年長の思い出保育でカレーを作るときの玉ねぎを植えよう。」という活動につなげていく)
- ④ カリキュラムに組み込んでいる活動：体育教室・英語教室・茶道教室・絵本の日・お誕生日会の実施 (※4)
 - 子どもたちは意欲的に活動しており、その様子をおしゃべり会で紹介し、教室の教育的な意義を啓発
 - ▲ 茶道教室の発表の場の確保 → 年間6回程度を確保し、祖父母を招いてのお茶会ができるように
 - 高校との連携の継続・深化 / 改装後の図書館を有効に活用した活動の展開
- ⑤ 新しい取組として：学院の観察実習の実施 (※5)
 - 教員・子どもたちの刺激になるとともに、付属園としての役割を果たすことができた
 - 学院教員との連携(職員への指導助言)や学院生の活用(ボランティアでの活動支援)
- ⑥ 園児募集に関わって：保護者の協力 (※6)
 - 入園説明会では保護者の協力を得て開催日を「家庭保育協力日」として全職員で対応できた
 - ▲ 少子化に伴い、園児確保が難しい状況が続いている
- ⑦ アットホームな幼稚園の再開：全園児揃っての運動会の開催 (※7)
 - 4年ぶりに全クラスそろっての運動会を開催でき、アットホームな幼稚園の良さを再確認できた
 - 保育学院生の協力を得て開催することで、全保護者に保護者席からの観覧をしていただくことができた
 - 全クラス開催は継続し、内容についてはより良いものになるよう検討を重ねていく
- ⑧ 130周年を記念して①：移動動物園の開催 (※8)
 - 130周年記念Tシャツを販売することで、動物園招聘費用の約半分を賄うことができた
 - 子ども園、保育園とも連携し、地域全体に広がるような企画運営ができるかどうか
- ⑨ 130周年を記念して②：公開保育の実施 (※9)
 - 本園の保育を発信するとともに、公開保育に向けて研修をすることで教員の保育力向上につながった
 - ▲ 負担増とならないよう、研修したり環境を整えたりするための時間確保の仕組みを整える必要がある
 - 体制づくりと公開保育の継続
- ⑩ 子育て支援と園児募集に向けて：1歳児未就園児クラス・子育てスポットの開設 (※10)
 - ▲ 年々新入園児が減少しており、園運営において園児確保が最大の課題となっている
 - 新たに1歳児未就園児クラスと子育てスポットを開設する
 - 様々な方法で「白藤の幼児教育」の良さを発信し、園児確保につながるようにしていく

2. 園児募集にかかわって

① 募集内容と入園説明会

- ・ 募集定員： 3年保育児(3歳児組30名) / 2年保育児・1年保育児(4歳児組・5歳児組 若干名)

- ・開催日： 6月17日(土) 11名参加(うち、いちご組7名 / 兄弟関係1名 / 一般3名)
7月15日(土) 4名参加(うち、いちご組2名 / 一般2名)
8月 5日(土) …… 3名参加(うち、いちご組1名 / 兄弟関係1名 / 一般1名)
- 開催日を「家庭保育協力日」として保護者に協力を願い、職員全員体制で実施した。
- 説明会参加者満足度は全員「とてもよい」評価を得た。

② 白藤アカデミーと一般園庭開放

- 白藤アカデミーは当初予定を変更し、第3土曜日にも開催(年間15回開催予定)

〔白藤アカデミー〕

- ・ 5月 6日(3家庭)
 - ・ 6月 3日(9家庭)
 - ・ 7月 8日(11家庭)
 - ・ 7月22日(8家庭)
 - ・ 9月 2日(8家庭)
 - ・ 9月16日(10家庭)
 - ・ 10月28日(7家庭)
 - ・ 11月 18日(8家庭)
- (今後の予定)

〔一般園庭開放(水曜日)〕

- ・ 5月17日(2家庭)
 - ・ 6月21日(4家庭)
 - ・ 7月12日(8家庭)
 - ・ 10月18日(10家庭)
 - ・ 11月15日(8家庭)
- (今後の予定)
- ・ 12月13日 / 1月17日 / 2月21日 /
 - ※ 1月・2月は「絵本の広場」に変更して実施

- ・ 12月2日 / 12月16日 / 1月20日 / 2月3日 / 2月17日 / 3月2日 / 3月16日

▲ 魅力ある取組にしていくためには、職員全員で実施していくことが望ましい

→ 土曜日は無料の預かり保育日として設定するなど、土曜保育の在り方を検討していく必要がある

※ 隔週土曜日の保育を実施している園は本園だけであり、月1回の開催園も2園のみである

- 遊びだけでなく、子育て相談ができるような企画も考えていく(保育園等との協力も得て)

③ 広報活動

- ・ パンフレット・チラシの配布：「おいでよゆめのくに」や「奈良こども館」など近隣7施設
- ・ 奈良の子育て情報誌「ことまま」への広告の掲載：7・8月号
- ・ 「ことまま」で大宮地区の子育て特集を組み、白藤学園の幼児教育を発信する(9・10月号)
- ・ HPのリニューアル(7月下旬にアップ)
- 口コミ等の仕掛け(現役の保護者や保護者 OG/OB からの発信の工夫)

④ 奈良市の園児数の推移とこれからの対応について

幼稚園	R5 年度園児数 (人)	定数割合 (%)	2年後園児数 (人)	2年後の割合 (%)
奈良保育学院附属	80	88.9	69	76.7
帝塚山	92	61.3	72	48.0
東大寺学園	94	62.6	81	54.0
奈良大学附属	164	91.1	129	71.7
親愛	118	70.2	99	58.9
奈良カトリック	135	91.8	129	87.8
奈良学園	100	83.3	72	60.0
近畿大学附属	130	86.7	108	72.0

※ 市内の私立幼稚園については、どの園も園児数が減少しており、今後厳しい状況となる。

本園については現在、R6 年度の新入園児数(見込み)は14名であり、2年後の割合はさらに低下していくことが予想される。(→ 過去5年間の推移は「資料③」参照)

[新たな取組に向けて]

- 1歳児未就園児クラス「ひよこ組」の開設
 - ・ 11月18日(土)・22日(水)に説明会を実施
 - ・ 「ひよこ組」はR6年度に先立ち、1月10日にプレオープンしていく
- 高校第2職員室(1号館1F)の場所を、白藤子育てスポットとしてリニューアルして活用する
 - ・ 3月22日(金)にプレオープン、27日(水)から運営を予定(平日9:30~14:30)
- 魅力ある保育内容の実施(R6年度に向けて検討)

[現在検討している内容]

* 水泳教室の実施

- ・ 奈良 YMCA と連携し、年長と年中組が実施
 - 正課教室の一環として実施し、5月中旬~7月上旬に週1回・全9回(着衣水泳アリ)行う。
 - 園バス1台とYMCAの送迎バス1台で行き来する。
 - ※ 園児募集の時期に園バスを西大寺方面に走らせ、またYMCAのバスを学園内に乗り入れることで、付属幼稚園をアピールする効果も狙う。

* 森の教室の実施

- ・ 9月下旬~11月中旬(全10回)に年長組が黒髪山キャンプフィールドを使った園外保育を行う

* 本物にふれる保育

- ・ 奈良に感動する保育: 東大寺・大仏さん/興福寺/春日大社/平城宮跡/薬師寺・唐招提寺等・・
- ・ アートの日: 元奈良女子高校教員・奥中章人氏のワークショップの実施
- ・ 野菜の栽培からの収穫、収穫後の「食」の活動を見通した保育プログラムの実施
- ・ 茶道教室: コロナ禍で縮小していた茶道教室を充実させ、日本の伝統文化に触れる機会とする

3. 今後の課題と対策

① 保育料等の設定について

(現状) 保育料は月額 24,000 円(2 年保育・1 年保育の場合は 23,000 円)で、入園時に入園金 30,000 円と施設設備費 10,000 円を徴収している

- 幼児教育無償化の上限は 25,700 円であり、保育料や施設設備費、教育充実費等の設定をどうしていくか検討する必要がある

② 施設設備の改修について

- 年少・年中のトイレの改修
- 照明の LED 化
- 園庭の充実等・・

③ 送迎バスの在り方の検討

- 年間 700 万円を超える経費がかかり、使用者数の減少に伴いバスの台数を 1 台にするか、逆に 2 台ある強みを生かして積極的な活用(新たな園児獲得方法 / 園行事等への積極的な活用 / こども園・保育園での利活用等)を検討する必要がある

④ 職員の資質能力の向上について

- 魅力ある園としていくためには、職員一人ひとりの資質向上が必須である
 - ・ 研修会や他園の公開保育等に積極的に参加できる仕組みづくりを行う
 - ・ 現状、コドモン配信や降園時刻の関係から職員の勤務状況がタイトになっている。保護者の協力も得て、保育の準備や環境整備を行う時間の確保ができるように改善していく